

いちのせき滝沢地区の史跡を訪ねましょう！



1 境滝
滝沢の地名の由来となった滝で、滝沢川の下流、狐禅寺との境にあります。滝は2億年以上前の海底で堆積し固まった硬い石の断崖に挟まれており、景勝地です。



2 オノ神古碑群
滝沢で最も古い邑（みの）の供養碑があります。他に道祖神、山の神等が祀られており、滝沢・狐禅寺が見渡せる丘の上にあります。



3 和算家清泉翁寿碑
千葉倉松（1808～1892）、関流八伝。門人達が生前に奉納。種蒔き桜の傍らにあります。翁の生誕地は水口で、碑は大船渡線開通で移転しました。



4 大六天碑
修行の妨げをする天魔・魔王とされたが、中世末期に守護神へと性格が変わり、お参りすれば子供が丈夫に育つと信じられてきました。



5 三峯神社
埼玉県秩父の三峯山に鎮座する三峯神社の信仰。火難・盗難除けの神様で、鶴ヶ沢から分祠されました。



6 梶（サイカチ）
真滝駅に近い、元真滝診療所跡にある名木で、樹齢約300年、幹回り約4.4mあり、多くの人に親しまれています。



7 熊野白山滝神社
延暦20年（801）、征夷大将軍坂上田村麻呂が遠征の際に勧請。和算家や門人達が算額を奉納しており、境内には月山、湯殿山、金華山、雷神等が祀られています。日影の滝明神社が元神様です。



8 醫王山 長壽寺
曹洞宗寺院。応永14年（1407）開創の名刹。御本尊は薬師如来像。境内に長壽観音像、参道中段に六地藏が人々の暮らしをお見守りしています。



9 天神碑
学問の神様。受験シーズンには地域の受験生が熱心にお参りしています。



10 カイエビ保護区
生きた化石（約1億4千万年前）といわれる「貝海老（カイエビ）」の保護地です。5～7月に確認することができます。



11 キリシタン塚
処刑されたキリシタンを埋葬された塚。直径6～10m、高さ1.5mくらいの塚山が大小7つあることから、セツ森とも呼ばれています。



12 大堤
大田合地区への用水堤です。昔、大堤を作ってもすぐ壊れてしまうので、生きた娘（または旅の商人）を埋めて完成させたという人柱秘話があります。



13 八幡神社
作神様が脇侍に狐を従え、右手に鎌、左手に稲穂を持っている彫像があります。田んぼを挟んだ東側には泥畑分教場跡や講中塚があります。



14 講中塚
神仏を参詣したり寄進などをした団体を「講（講中）」といいます。ここには様々な信仰碑が9基集められています。



15 至心道士塚（一本杉）
真瀧村誌に、至心道士という人が断食をして修行、死期を悟り近くの洞窟で往生しました。その道士を埋葬した所。そばに幹回り約3.5mの老杉があり、晴れた日には遠く岩手山などが一望できます。



16 古峯神
栃木県鹿沼市の古峯ヶ原にある古峯神社を中心とする信仰。火伏の神、五穀豊穡・開運の神。通称「二本松」と言われ、昔は小学校の遠足の場所でもありました。明治14年（1881）建碑。



17 庚申塔
木ノ川と藤の分岐点にある道標。慶應2年（1866）に建てられ、「右ハーのせき、左ハたさざわ」と道案内の文字が刻まれています。（左から2番目）



18 和算家千葉流景碑
関流八伝、通称次郎右衛門（1775～1857）。門人は数百人と伝えられ、碑は門人が功績を讃え、下街道（上藤）に建てました。墓（19）は、石法華地内（国道284号線沿い）にあります。 **マップ18位置**



20 紙漉き井戸跡
昔、滝沢地区では約60軒で紙漉きが行われていた。建物の中には楮の枝を叩いて繊維を分解させるピーター機械がありました。



21 丸鬼古碑群
幕末、外国船が頻りに日本近海に来るようになり、田村藩のみならず、大勢の兵と共に出陣、この地（上街道）で休息し、さらに気仙沼方面へ向かったとされています。地元から沢山のにぎり飯などが届けられたそうです。（大きな碑が2基倒伏しています）



22 道祖神
道端でよく見かける神様。集落の境などに祀られています。集落の守り神や子孫繁栄・交通の神様として人々に親しまれてきました。**23にも道祖神が祀られています。**

滝沢地区 お宝マップ

滝沢地区は、一関市のほぼ中央にあり、北上川の支流、滝沢川などを流域とする、東西約5km 南北約6kmの自然豊かな地域です。昔、「吾勝郷荒滝の荘」といい、のちに「滝沢」と呼ばれるようになりました。（真瀧村誌）

西側には一関東工業団地、一関流通団地、一関第二工業団地が隣接し、南側には「須川パイロット事業」によって広大な農地が造成され、米をはじめとする品質の良い農産物が、全国各地に届けられています。以前には養蚕や紙漉き・炭焼き・亜炭の採掘などが盛んに行われました。

昔から神仏に対する信仰が厚く、病気や災害・盗難や火難を防ぐため、また五穀豊穡や雨乞いなどの「信仰碑」が建てられてきており、家々では個々に氏神様を祀っている地域です。

勉学にも力を入れ、優れた多くの和算家を輩出している地域でもあります。各地に和算家の顕彰碑が建てられ、滝神社には多くの算額が奉納されています。

滝神社周辺は、今でも貴重な動植物が棲息し、2005年には生きた化石と呼ばれる「貝海老（カイエビ）」も発見され、保護区とされています。

このマップは、2006年発行の「滝沢地区お宝マップ」をもとに、滝沢地域振興協議会教育文化部会が再編集・制作しました。2023.9



23 伊勢神宮社
正面に伊勢神宮社、左側には山神社、天神様、水天宮、黄金山大神等が祀られ、線路を挟んだ北側には、山の神社が祀られています。近くに稲荷神社、雷神様、相撲場跡、牧場跡があります。



24 亜炭鉱跡
亜炭（褐炭）は、明治年間から1950年代まで全国各地で採掘され、主に家庭用燃料として重宝された。真瀧村各地でも採掘され、滝沢地区では滝沢下方面や鶴ヶ沢、二ノ沢などから多く産出された。



25 火産霊神社
千葉倉松（3参照）翁孫・倉之助の手によるもので、建物の他に竜等の彫刻も素晴らしく、当地区では他に類を見ない神社です。近くに旧一関市長・菅原佐平氏の生家があります。



26 和算家菅原助五郎 95 回忌記念碑
南沢庵寺に墓があり、関流九伝（1821～1888年）。門人が滝神社に算額を奉納しています。明治7年より5ヶ年、滝沢村村長を勤めました。（菅原芳一氏宅地内にあり）



27 須川パイロット記念碑
丘陵地のため、昔から農業用水不足に悩まされ、用水の確保や耕地の拡大が先人たちの夢でした。現在、毎秒約1000ℓが取水され広い耕地を潤しています。昭和45年着工、昭和62年に完成。



28 八甲田山雪中行軍凍死者鎮魂碑
明治35年、観測史上未曾有の猛吹雪の中、八甲田山雪中行軍で殉職した多重氏の鎮魂碑です。旧一関市長菅原佐平氏は伯父にあたります。